学校番号	2004

令和８年度　地理歴史科

教科	地理歴史	科目	世界史探究	単位数	３単位	年次	３年次
使用教科書	詳説世界史　（山川出版）						
副教材等	最新世界史図説タペストリー　（帝国書院） 新世界史要点ノート［応用編］　（啓隆社）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

世界史探究では，世界史の古代から現在までを改めて学びます。歴史総合で，一体化したグローバルな世界の歴史を学んできました，一体化された世界は，各国や各地域が相互に類似した政治・経済・社会体制を共有して不可分に結びつき，平和で安定した世界が成立すると期待されました。しかし，現実には世界の一体化は世界の統合化ではなく，むしろ世界の多元化・差異化・多様化を拡大させている。なぜこのような錯綜した状況がおきるのか，また，それをつくりだす要因は何なのかは，近現代史の考察だけでは十分に理解できません。近現代の考察の要因を理解するために、近現代以前の地域や国のそれぞれの個性と地域間の交流のあり方を学びましょう。

２　学習の到達目標

(1) 世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について，諸資料から世界の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめるとともに、地理的条件や日本の歴史と関連付けながら知識を理解する。
(2) 世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる事象の意味や意義，特色などを，時期や年代，推移，比較，相互の関連や現代世界とのつながりに着目し，多面的・多角的に考察したり，課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や議論する力を養う。
(3) 世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事情について，よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養い、未来の予測や解決策を見出そうとする姿勢を養う。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	● 諸資料を活用して，資料から情報を読み取ったりまとめたりする技能を身につける。 ● 諸資料を活用して，各単元の歴史的特質を理解すること。 ● 諸地域の交流の広がりや地域の特質を構造的に理解すること。	● 諸事象を捉えるための時間の尺度や，諸事象の空間的な広がりに着目し，主題を設定し，地球の歴史における人類の特性を考察し表現すること。 ● 諸事象の背景や原因・結果・影響・事象相互の関連に着目し，歴史的特質を読み解く観点について考察し，問いを表現すること。	● 社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ，課題を追究したり解決する活動を通して。広い視野に立ち，グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な学習に取り組む態度を養う。

上に示す観点に基づいて，学習のまとまりごとに評価し，学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて，それぞれの観点を適切に配分し，評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前期	諸地域の歴史的特質の形成	0. 世界史へのまなざし I. 文明の成立と古代文明の特質 II. 中央ユーラシアと東アジア世界 III. 南アジア世界と東南アジア世界の展開 IV. 西アジア世界と地中海周辺の国家形成 V. イスラーム教の成立とヨーロッパ世界の形成	a:人類の誕生と地球規模での拡散・移動を基に、人類の歴史と地球環境との関わりを理解している。 b.諸地域における文明や国家，地域の歴史的特質や特徴を理解している。 b:諸地域の社会や文化，特質などを考察し，共通点や相違点などに関して根拠を示して，自分の言葉で表現している。 c:諸地域の社会や文化，特質などを主体的に探究しようとしている。	定期考査	定期考査 レポート	レポート ワークノート 振り返り
	諸地域の交流・再編	I. イスラーム教の伝播と西アジアの動向 II. ヨーロッパ世界の変容と展開 III. 東アジア世界の展開とモンゴル帝国 IV. 大交易・大交流の時代 V. アジアの諸帝国の繁栄 VI. 近世ヨーロッパ世界の動向	a:イスラームの拡大やモンゴル帝国の拡大などユーラシア各地に与えた影響から，どのような変化や結びつきをしたかを理解する。 b:ヨーロッパ世界や唐・明などのアジア諸国の特質を理解し，どのように結びついているかを理解する。 b:イスラームの拡大やモンゴル帝国の拡大などがユーラシア各地にもたらした変化などについて，自分で考察し自分の言葉で表現している。 b:ヨーロッパ世界の社会構造やルネサンス運動，唐・明などのアジア諸国の特徴や課題を自分で考察し自分の言葉で表現している。 c: アジア諸地域間の交流について主体的に探究しようとしている。 c:17～18 世紀のヨーロッパの社会構造の変化を主体的に探究しようとしている。	定期考査	定期考査 レポート 振り返り	ワークノート レポート 振り返り

後期	諸地域の結合・変容	I. 産業革命と環大西洋革命 II. イギリスの優位と欧米国民国家の形成 III. アジア諸地域の動揺 IV. 帝国主義とアジアの民族運動 V. 第一次大戦と世界の変容 VI. 第二次世界大戦と新しい国際秩序の形成	a:欧米の革命が与えた影響や欧米を中心とする帝国主義の特徴と帝国主義が与えた影響を理解している。 b:欧米の革命や帝国主義が当時の世界に与えた影響を考察し，現代との関係性を捉え，共通点や相違点などの比較などを用いて根拠を示し，自分の言葉で表現している。 c: イギリスの覇権が欧米諸国に与えた影響を主体的に追究しようとしている。 c:帝国主義が各地に与えた変化について，主体的に探究しようとしている。	定期考査	定期考査 レポート 振り返り	ワークノート レポート 振り返り
	地球世界の課題	I. 冷戦と第三世界の台頭 II. 冷戦の終結と今日の世界	a:東西陣営の対立に至った経緯と冷戦期の特徴と世界の多極化に至る原因や状況を理解している。 a:冷戦終結後のグローバル化に向かう世界の変化や課題を理解している。 b:国家間の対立や紛争の原因を各国の視点から考察し，根拠を示しながら自分の言葉で表現している。 b:冷戦下の世界が生んだ国家間の経済格差やグローバル化における功績や課題について，根拠を示して自分の言葉で表現している。 c:諸資料を活用し，課題を探究したり解決する活動に主体的に学んでいる。	定期考査	定期考査 レポート 振り返り	ワークノート レポート 振り返り

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度